



身近な問題に受講者の関心は高まる(野幌公民館にて)

おいしい食卓を囲もう

驚き 安心 新知識 第三回生涯学習講座

9月17日から10月15日まで五回にわたり生涯学習推進協議会と江別市食生活改善協議会との共催により開催されたこの講座には、主婦のほか、食品関連、飲食業に携わる人の参加もあり毎回五〇名を越える受講がありました。

外国からの輸入作物の危険性を説いた三島講師は、見栄え重視で商品価値を高めるためのポストハーベスト農薬使用の実態をビデオで紹介。トラックごと農薬スプレーをあびせられるりんご、農薬のプールを流れていくバナナなど想像を絶する光景に「もう何も食べられない」とショックを

受ける受講者に「輸入作物全てが危険なわけではなく、現状を知り見分ける目を持つことが大切」と解決への糸口を最後に示してくれました。受講者一同、胸をなでおろすと同時に知ること、学ぶことの必要性を強く感じ、会場を後にしたようです。

食の話 五味 五感 五題

今回は、大学、マスコミ、ホテルの厨房など各界で活躍する講師五名を招きました。テーマ及び講師はつぎのとおり

盛り沢山で満足

野幌にいながらにして著名な方のお話が聞け、そのうえ食の話となると、ぜひとも受講したいと申し込みました。初回は北国の食文化についてのお話で、鮭が取りあげられ、魚の習性などを興味深く聞かせてもらいました。

また、食糧問題については、仕事柄多少の知識があったのですが、大量の農薬の散布状況など、あまりのすごさに輸



食糧事情を語る三島先生は深刻な面持ち

りです。

- ①「北国の食文化」北海道女子大学人間福祉学部教授 羽田野六男氏、②「21世紀の食料問題」北海道大学農学部教授 三島徳三氏、③「日本人の国民食〜カレーの話」ア

入野菜や果物の安全性への疑問を強くし、あらためて考えさせられました。

星澤幸子さんはテレビで拝



山中 敏子さん

最後の土壌のお話では、家庭菜園をやっている受講者の関心を高め、質問が多かったように思います。

見しているせいか親しみながらも、話題も豊富で、あっという間の二時間でした。また、帰り際に個人的にお話しがで

す。(中央中学校教諭)

寄稿 日々楽しむ私の生涯学習



義達伊都子さん

「点字ろくの会の一員として、恵明園の点字サークル指導に、月二回奉仕にかけるようになって早や六年になります。

以前から「読書が好き」といった理由だけで点訳をしてみたいと思っていたのですが、主人の退職を機に江別へ引越したことで、ろくの会の

点字養成講座に学

び、点訳奉仕の仲間入りをすることができました。

養成講座に学んで、読書が好きというだけでは、決して点訳は出来ないということが良くわかりました。点字で文章を書くときは常に複雑な決まりが沢山ありますし、私が同期の方達の中でいちばん高齢でもあり、理解するのに時間がかかり

ました。

点訳する本のページが赤字で点々と直された時は、恥ずかしいやら、情けないやらで幾度やめようと思ったかわかりません。

私たちは今、本屋さんに行けば本が溢れており、読みたい本を自由に選べます。視力障害者の方が読みた本を自由に選ぶということは、とても難しいことです。

点字を習って

私も年齢的に

つまで点訳奉仕が続けられるか心許ないので、背伸びをせず、出来る限り頑張りたいと思います。月二回の恵明園の奉仕は、視力障害者の方達とのふれあいも楽しく、園の方達と年齢が近づいてきたこともあり、長く続けていきたいと思っています。

(点字ろくの会会員)



伝統文化、手すき和紙に挑戦
(市教委小中学生国内研修交流事業・高知県土佐市)

前向きにトライ

やりたい事は沢山あるので。ただ、仕事と家事と子育ての合間に「自分のための時間」を持つのはなかなか難しいのです。

でも、知らず知らずのうちに始まっていた楽しいこと。我が子の誕生とともに始まった「育自」は、これからも続いていく学習のひとつです。

お金を出せばなんでも手に入る

留学生を講師に、江別日中友好会の会員が生徒です。私の場合、今さら資格取得云々ではなく、八年程前に頭の体操をと思いたち、中国語なら漢字だから何とかなるだろうと安易な気持ちで道新文化教室に入会したのが中国語学習の初まりです。

自己研鑽の余生

それだけに中国に思いを残して引揚帰国をした夫婦です。ので、友好の会が発足したの

毎週月曜日の夜、夫の車に送られて、私は国際センターの中国語教室に出席します。



工藤 紀子さん

りやすい今日ですが、お金では経験できない事をたくさん教えてくれたのは子供達なのです。

その子供達がそれぞれに部活動や少年団で自分のやりたいう事に熱中しているなか、長い間憧れていたフラメンコを堪能しました。



斉藤奈緒美さん

習うチャンスがやってきたのは去年の春。

わくわく、ドキドキ、レッスンは楽しいのですが、イメージの中のそれと自分が踊っているそれは相当違うのです。

つまり下手。「上手になりたい。百聞は一見にしかず。」私は本場のフラメンコを観たくてスペインに行ってきました。昼間は美術館やフラメンコ用品店をまわり、夜は遅くまで劇場やタブラオのハンゴをしてフラメンコを堪能しました。

を機に早速入会し、毎年企画される「草の根による中国の理解と文化交流を深める研修旅行」には健康の許す限り参加し、また、夏の野外パーティーには在札総領事をはじめ多くの中国人を招待して楽しい交流とするため、

さらに留学生とのより親密なコミュニケーションのため、今後も生涯学習を意識して中国語を学んでいきます。他にも江別華道会、蒼樹大、向ヶ丘女性コーラス、体

操グループと、自己研鑽の余生を過ごすつもりです。最後に私の好きな詩の一篇を紹介いたします。(板村真民作「小さなおしえ」より) 見知らぬ人でもいい 雨に濡れていたなら 走って行って 傘に入れておやり 目の見えない人が 歩いていたら おつ母さんになつたつもりで 手を引いておやり (江別日中友好の会会員)

王子製紙(株)江別工場

柳田 弘 機(事務部長)

王子製紙(株)江別工場は、北海道で最初の製紙工場として明治四十一年に操業を開始し、今年で八九年を迎えます。

この間、昭和一九年から二〇年にかけて王子航空機(株)別製作所となり、木製戦闘機「キ一〇六」を製作した時代があります。昭和二二年に製紙工場として北日本製紙(株)で再出発し、その後の合併により現在に至っています。

現在は従業員数三五〇名で操業し、年間二〇万トンの紙を生産しています。

私たちは、生涯学習の観点からみると従業員一人ひとりの能力の開発と自己啓発の促進に努め、これがひいては家庭や地域、あるいは本人の生涯学習に結びつくものと考え、

〈専正池坊アカシヤ会〉

ただいま！と玄関を開けた時花一輪迎えてくれる嬉しさ。季節の花をコンポートに盛って部屋に飾るのも素敵。若い方もお年寄りも一生楽しく勉強できる奥の深い華の道です。わかりやすく指導するのは北海道いけ花連盟常任理事池上理圃先生。詳細は野呂さん ☎384-1214まで。

〈碧空流恵峰会〉

詩吟に親しんでみませんか。思い切り大きな声を出してストレスを解消し、楽しい人生を過ごしませんか。小学生からお年寄りまで老若男女を問わず大歓迎です。練習は月曜の夜と火曜の午後です。入会ご希望の方は吉田さん ☎382-2321まで、お気軽にどうぞ。

新会員の紹介

10月30日付けで次の団体が入会しました。

◆江別短歌会/代表 飯田哲雄さん
会員 130名
協議会への入会に関するお問い合わせは事務局までどうぞ。
〈事務局〉市教委生涯学習担当
381-1062



ちょっと緊張しちゃう!?

英語や国際文化に対する関心
このコンテストを通して、
とときを過ごしています。
等もあり、参加者も楽しいひ
者による異文化体験談の発表
や、外国人を囲んでの懇親会
野幌公民館で行われ、一般の
方のご来場も大歓迎していま
す。

な、このコンテストは来
年以降も開催の予定です
中学生の参加もお待ちしてい
ます。お問い合わせは国際交
流協会の葛西さん・386-
4555または太田さん38
5-0495までどうぞ。

一人ひとりの能力を伸ばす

ラウンドワーク活動とは「住民・行政・企業の三者が協力して、パートナーシップによる地域での実践的な環境改善活動」のことです。

この活動について、私たちは身近なテーマで出来るものとして、

改善と従業員の啓蒙を兼ねて「グラウンドワーク活動」にも取り組んでいます。このグ

から始めようとの考えで、現在は工場周辺の清掃、構内緑



先進的な取り組み、グラウンドワーク活動

チャレンジングイングリッシュ

中学生 英語暗唱コンテスト

12月14日

市民レベルの国際交流活動を行っている江別市民国際交流協会では、次代を担う若い人にも交流の輪を広げ、日頃の英語学習の力を発揮してもらおうと中学生英語暗唱コン

学校代表という形をとらず個人参加を前提に、過去三回の大会が開かれ、たくさんの中学生在が流暢な英語を披露してきました。第四回となる本年度は12月14日午後一時より野幌公民館で行われ、一般の方のご来場も大歓迎していま

が深まることを願ってきましたが、その成果や手応えの確かさに江別市の中学生の明るい未来が見えるような気がします。



頼もしい国際派の面々

学習団体・施設を調査

ガイドブックNo.3 発刊のお知らせ

「生きること 学ぶこと～江別市生涯学習ガイドブック」は、市民に広く生涯学習に関わる情報を提供しようとして発刊されるものです。

その第一歩として、市教委が平成8年3月に各種教室・講座・イベントなどの学習機会と文化・スポーツ・生活など各分野の指導者を紹介する「事業・指導者編」を発刊しました。これをうけ、生涯学習推進協議会では翌年「推進協議会編」として会の活動や会員を紹介しました。

今回発刊するNo.3は、学習活動を行うための仲間づくりのための各種団体・サークルなどの紹介、さらに活動場所となる施設の紹介を行います。「健康のため何かスポーツをしたいがどんなクラブがあるのか」「仲間とサークルをつくったが、場所を貸してくれる施設はあるか」などの疑問に応えられるものにしようとして、現在市内の団体・施設を調査中です。

来年3月に発刊する予定で、協議会会員団体をはじめ、公共施設で無料配布します。どうぞ、お手に取りください。

私の宝物

翰墨・游戯

森山庸美

還暦を過ぎる年令ともなれば、書齋には沢山の「ガラクタ」が集まっ

て来て、何時も家内から整理を懇望される。貴方が死

んだ後、自分では処分しかねるとい

う理由である。確かに、いくらいと

おいしいモノでも死んだらあの世には

持って行けないのだから、何時かどこかの時

点で整理、処分しなければならぬことはわかってい

るつもりだ。「私の宝物」の基準は、

即ち私の基準であり、私に



とっての宝物という事であろう。なんだそんなモノか、と言われるモノは沢山あるが、この際強いて挙げるとすれば「拓本」を紹介したい。書道

つては、拓本と云う技術に よってのみ、書の手本が成り立っていたが、その名残が私の「貴重な宝物」という次第である。何年か前に、長崎の孔子廟を訪れた際に、所有している拓本と全く同年代の孔子行教像の拓本が展示されていた。本当に驚愕した想

い出があるが、その時から私には身に余る宝物があることを自覚した次第である。これらの宝物達（大小三〇点ほど）を、近い将来、鑑賞作品として仮仕立てし、皆さんにご披露したいと思っ

ている。（江別市社協常務理事）

（江別市社協常務理事）



市内学習ポイント⑦

江別市いきいきセンター

在宅福祉サービスの拠点として平成七年四月にオープン

のこのセンターでは、健康な高齢者から介護を要する人ま

で、それぞれの身体状況にあわせて活動できる各種サ

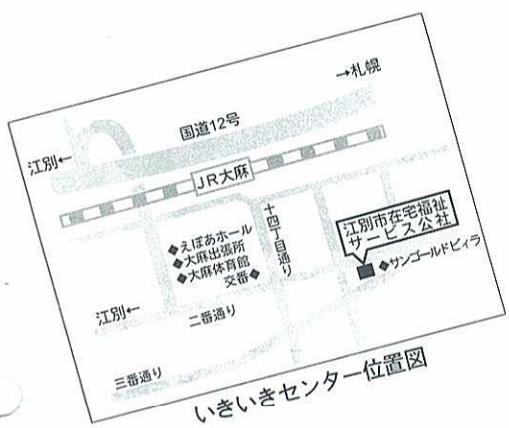
ビス機能を併せ持ち、現在は（財）江別市在宅福祉サービス公

社が管理しています。地域住民の会合、各種サークル活動に利用できるほか、娯楽室や情報図書コーナーでは自由に仲間と交流できます。また、在宅介護支援センター、デイサービスセンター、ホームヘルパーセンター

ションとしての在宅福祉活動も展開しており、介護に関するご相談には24時間体制で応じています。お気軽にご利用ください。介護相談・387-5656

〈所在地〉大麻沢町5-16 387-5111

※開館：9時～21時 休館日：日曜・祝祭日



いきいきセンター位置図

見てよ 知ってよ ふるさと再発見

第三回生涯学習フェスティバルえべつ

3月4日～22日

街なみ& 街角おもしろ写真展

この写真展は、現在の街の姿を知ってもらおうと開催するもので、ただ今展示作品を募集しています。

【募集作品】①街なみ写真：新旧市街地、郊外などの現在の姿 ②街角おもしろ写真：街中の珍しい、面白い、ふしぎな景色や物。

【応募資格】市民であること。【応募要領】①・②各1点、計2点まで（どちらか1点でも可）/四つ切り（モノクロ可）/額縁不要/出品料無料/住所・氏名・年齢・職業・電話番号のほか、作品タイトル・撮影年月日・場所を明記した用紙を作品裏に貼付。

【期限】平成10年2月13日【提出先】高砂町24・市教委生涯学習担当381-1062【展示】選考のうえ、3月に各公民館巡回で展示します。



はじめての一步は台本読み合せ

編集後記

寒くなりましたね。いよいよ白い冬の到来です。「冬来たりなば春遠からじ」これはイギリスの叙情詩人シェリーの詩の一節からきているのですが、この言葉を思い浮かべるとなんだか元気が湧いてきませんか。冬が厳しければ厳しいほど、春は優しくしてくれるのですよね。